



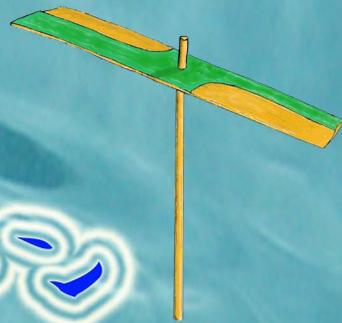
第2回流れの夢コンテスト報告書



2002年11月



社団法人 日本機械学会 流体工学部門
流れの夢コンテスト実行委員会



流れの夢コンテスト 2002 ドリーム・マシーン

流体工学部門では、流体工学の新しい展開と若手研究者の支援の一環として「流れの夢コンテスト」を2001年より実施しています。流体工学に関連したアイデア、理論、思想、遊び、教育、数値シミュレーションなど、その発想のすばらしさや、技術力を競います。第1回目は「生物と流れ」に関するアイデアコンテストを実施しました。第2回目は作品を製作し、プレゼンテーションとともに実演の結果を審査します。今回は、作品製作および作品発表にあたって、製作費・交通費補助の制度を設け、さらに優秀作品に副賞としての奨励金制度も設けました。奮ってご応募下さい。



東海大学加藤直三研究室

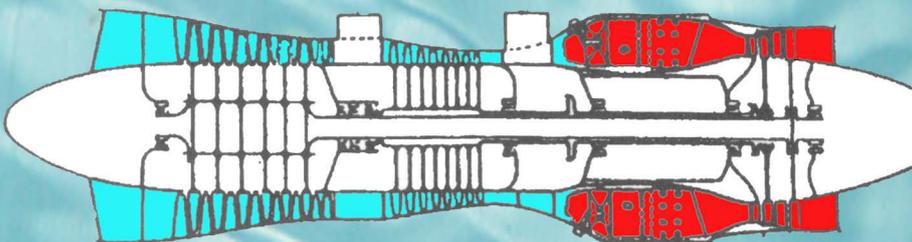
スケジュール

開催日 : 2002年11月17日(日)
開催場所 : 名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)
募集期間 : 2002/7/1 ~ 2002/9/30

表彰



優勝 : 奨励金5万円(商品券), 楯
準優勝 : 奨励金2万円(商品券)
特別賞 : 奨励金2万円(商品券)



応募方法

e-mailにより応募して下さい。
表題(subject)を「夢コン2002への応募」とし、
①応募者の氏名
②応募者のe-mailアドレス
③応募名(作品と関係ない名前でも可)
を入力の上、
今尾茂樹(岐阜大学) imao@cc.gifu-u.ac.jp
へ送信願います。

注) グループ参加の場合は代表者を応募者として下さい



© TAKARA CO., LTD. 2001

ホームページ : <http://flow.mech.nitech.ac.jp/DreamMachine/>
問い合わせ先 : imao@cc.gifu-u.ac.jp

入場無料



第2回 流れの夢コンテストプログラム ～ドリーム・マシーン～

The 2nd Contest on Dream of Flow 2002
- *The Dream Machine* -

開催日：2002年11月17日（日）

会場：名古屋国際会議場

主催：日本機械学会 流体工学部門

後援：アイシン精機株式会社，石川島播磨重工業株式会社，
株式会社荏原製作所，株式会社デンソー，
株式会社東芝，株式会社豊田自動織機，日機装株式会社

プログラム

特別講演

13:00 開 会

13:00 ~ 13:10 実行委員長挨拶 伊藤基之

13:10 ~ 13:45 特別講演「水 Rocket にかかわって」

講師 坂井孝弘

名古屋工業大学ものづくりテクノセンター技術専門職員

13:45 ~ 14:00 休 憩

流れの夢コンテスト 1件10分(デモンストレーションを含む)

14:00 ~ 14:05 審査委員紹介

14:05 ~ 14:15 (1)アセチルコリン

印田 尚・舟橋 勇 名古屋工業大学大学院

14:15 ~ 14:25 (2)JeThomas

山田淳平・上野浩一・大野貴史 岐阜大学大学院

14:25 ~ 14:35 (3)パンサーズ

小川久嗣 名古屋工業大学

14:35 ~ 14:45 (4)geovanks

志津慶明 名古屋工業大学

14:45 ~ 14:55 (5)fantasista

小木曾 武 名古屋工業大学

14:55 ~ 15:05 (6)不_レ能_レ飛 (飛ぶにあたわず)

宇井岳夫 名古屋大学大学院

15:05 ~ 15:15 (7)アンディースピリッツ

井上憲幸 名古屋大学大学院

15:15 ~ 15:30 休 憩

15:30 ~ 15:40 (8)凧 神奈川工科大学

原雄一・水野香・米山昌子・石渡直人・亀田絵里

15:40 ~ 15:50 (9)A.K.T.

八幡剛・川島康太・新門励起 神奈川工科大学

15:50 ~ 16:00 (10)ネクロノミコン

伊藤憲哉 神奈川工科大学

16:00 ~ 16:10 (11)地球に優しく

窪田佳寛・美間博信 東洋大学工学部

16:10 ~ 16:20 (12)Adventure Bubble

Park Sung-Gyun 釜慶大学(韓国), 福井大学

- 16:20 ~ 16:30 (13) a small machine with a fluidic propulsion mechanism
Sejong Chun KAIST (韓国)
- 16:30 ~ 16:40 (14) 波紋疾走 東京都立工業高等専門学校
 新谷直亮・倉橋直也・山田拓哉・美山雄太
- 16:40 ~ 16:50 (15) あたりめ 東京都立工業高等専門学校
 木村邦芳・霜鳥信道・平井孝昌・片山 翔
- 表 彰 式 レストラン「カスケード」にて
 (FEC5 の Early Bird Reception 会場内で行います)
- 18:00 ~ 18:20 審査結果発表および表彰
- 18:20 ~ 18:30 審査委員総評
- 18:30 ~ 懇 親 会

審 査 委 員

- 辻 裕 日本機械学会 流体工学部門長
 小西義昭 日本機械学会流体工学部門 前広報委員長 日機装株式会社 開発センター
 坂井孝弘 名古屋工業大学ものづくりテクノセンター 技術専門職員
 宇賀神裕樹 石川島播磨重工業株式会社 基盤技術研究所 熱・流体研究部
 諸井隆宏 株式会社豊田自動織機 コンプレッサ事業部技術部技術管理室CAEグループ
 伊藤基之 第2回流れの夢コンテスト実行委員長 名古屋工業大学 教授

実 行 委 員

- 実行委員長
 伊藤基之 名古屋工業大学 教授
- 実行委員会幹事
 今尾茂樹 岐阜大学 助教授
- 実行委員
 土田陽一 名古屋工業大学 助教授
 横田和彦 名古屋工業大学 助教授
 宇賀神裕樹 石川島播磨重工業株式会社 基盤技術研究所 熱・流体研究部
 内田貴之 日機装株式会社 流体技術カンパニー流体機器工場技術部設計第1グループ
 諸井隆宏 株式会社豊田自動織機 コンプレッサ事業部技術部技術管理室CAEグループ
 日高宏一 トヨタ自動車株式会社 第1生技部シャシー生技室 3 G
 印田 尚 名古屋工業大学大学院工学研究科生産システム工学専攻 2年
 舟橋 勇 名古屋工業大学大学院工学研究科生産システム工学専攻 2年
 中垣輝之 名古屋大学大学院工学研究科機械情報システム工学専攻 1年
 井上憲幸 名古屋大学大学院工学研究科機械工学専攻 1年
 上野浩一 岐阜大学大学院工学研究科機械システム工学専攻 1年
 大野貴史 岐阜大学大学院工学研究科機械システム工学専攻 1年



名古屋国際会議場
Nagoya Congress Center

コンテスト会場ご案内

入場無料

会 場：名古屋国際会議場 2号館 2 2 2会議室
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
TEL 052-683-7711 FAX 052-683-7777

交通案内および詳細については <http://www.ncvb.or.jp/ncc>

問い合わせ先

今尾茂樹 岐阜大学工学部機械システム工学科
TEL 058-293-2521 FAX 058-230-1892
E-mail : imao@cc.gifu-u.ac.jp

流れの夢コンテストホームページ URL :
<http://flow.mech.nitech.ac.jp/DreamMachine>

目 次

第2回「流れの夢コンテスト」ポスター	
第2回「流れの夢コンテスト」プログラム	
第2回「流れの夢コンテスト」開催にあたって	3
第2回「流れの夢コンテスト」結果報告	5
特別講演 「水ロケットにかかわって」	
名古屋工業大学ものづくりテクノセンター 坂井孝弘	14
発表作品	19
(1) 樟脳発電 印田 尚・舟橋 勇 (名古屋工業大学大学院)	20
(2) JeThomas 山田淳平・上野浩一・大野貴史 (岐阜大学大学院)	22
(3) イルミネーション 小川久嗣 (名古屋工業大学)	24
(4) 流れるエンジン 志津慶明 (名古屋工業大学)	26
(5) 銀河鉄道 小木曾武 (名古屋工業大学)	28
(6) 不レ能レ飛 (飛ぶにあたわず) 宇井岳夫 (名古屋大学大学院)	30
(7) 段ボール箱による空気砲 井上憲幸 (名古屋大学大学院)	33
(8) 翔 原 雄一・水野 香・米山昌子・石渡直人・亀田絵里 (神奈川工科大学)	35
(9) イカ墨君 八幡 剛・川島康太・新門励起 (神奈川工科大学)	38
(10) クトゥルー 伊藤憲哉 (神奈川工科大学)	41
(11) BIO SUITの開発 窪田佳寛・美間博信 (東洋大学)	44
(12) Bubble Adventure Park Sung-Gyun (韓国 釜慶大学, 福井大学)	45
(13) a small machine with a fluidic propulsion mechanism Sejong Chun (韓国 KAIST)	48
(14) 波紋疾走 新谷直亮・倉橋直也・山田拓哉・美山雄太 (東京都立工業高等専門学校)	50
(15) あたりめ 木村邦芳・霜鳥信道・平井孝昌・片山 翔 (東京都立工業高等専門学校)	52
第2回「流れの夢コンテスト」写真集	54

第2回「流れの夢コンテスト」開催にあたって

第2回流れの夢コンテスト 実行委員長 伊藤基之



流体工学部門では、流体工学の新しい展開と若手研究者の支援の一環として「流れの夢コンテスト」を2001年より実施しています。流体工学に関連したアイデア、理論、思想、遊び、教育、数値シミュレーションなど、その発想のすばらしさや、技術力を競うもので、第1回目の2001年は「生物と流れ」というテーマのもとでアイデアコンテストが実施されました。

第2回「流れの夢コンテスト」については、第5回日韓流体工学合同会議に合わせて2002年に名古屋で開催すること、また若い人たちに「ものづくり」の楽しさを味わってもらうため、アイデアだけでなく、アイデアにもとづいて製作された作品をコンテストの対象とすることなど、我々が実行委員をお引き受けした時点ですでに第2回目コンテストの大枠は決定していました。

本コンテストの実行委員会は2001年12月に早くも第1回目が開催されましたが、そこではまずテーマを「ドリーム・マシーン」とすることに決め、コンテスト参加者に「流れを利用した、または流れに関係したおもちゃ」を考案・製作していただき、そのアイデアの独創性および作品製作に関する技術力を競うことにしました。2002年5月からは6名の学生委員にも加ってもらい、総勢14名の実行委員が協力してコンテストに向けての本格的な準備活動に入りました。7月初めにはホームページの整備を完了してコンテストへの参加募集を開始、さらに8月下旬にはポスターを全国の大学や高等専門学校に発送して広く参加を呼びかけました。

ところで、このようなコンテストの開催にあたり、主催者として最も気になるのは「最終的な応募作品の数」です。特に今回は、作品製作および作品発表にあたっての制作費・交通費などの補助を早々とホームページに掲載した関係もあり、応募チームが多過ぎても財政面で困難が予想されます。無論、応募チームが少な過ぎる事態は絶対に避けなければなりません。今回の場合、応募締切り間際の9月下旬になっても応募総数は8件という少ない状態でしたので、何か対策を講じなければと思案していました。

丁度そのような時、流体工学部門の広報委員会が開かれたので、「流れの夢コンテスト」に関する準備状況を報告したところ、部門長の辻先生(阪大)から「コンテストの表彰式を日韓流体工学合同会議のレセプションで行うのであれば、韓国側にもコンテストへの参加を

呼びかけて欲しい」との要請がありました。応募締切り間際の急な話なので少々慌てましたが、幸い広報委員の村井先生(福井大)から全面的なご協力が得られ、韓国側にも参加を呼びかけることができました。応募締切り期日を9月末から10月中旬に延期するなど、締切り間際での日程変更を余儀なくされましたが、最終的には国内から13件、韓国側からも2件の応募が得られ、応募総数については我々の目標は十分達成されたと言えます。

コンテストは11月17日に名古屋国際会議場において開催されましたが、会場には多数の方々のご参加を頂き、活気に満ちた雰囲気の中で大会が開かれました。コンテストに先立って、名古屋工業大学ものづくりテクノセンターの坂井氏による、「水口ケットにかかわって」と題した特別講演が行われました。氏がこれまでに開発・製作された誘雷用や送電線工事用等の水口ケットに関する興味深いお話が実物展示やビデオ上映とともになされ、大変好評を博しました。本報告書にも当日の講演内容の一部を再録させていただいております。

コンテストは、国内13チーム(28名)、韓国2チーム(2名)の参加のもとで行われました。各チームには実演を含めて10分程度のプレゼンテーションを行ってもらいましたが、各発表者は自身の作品に関する理論や製作上の苦労などについて実に熱心に説明し、参加者を楽しませてくれました。いずれの作品も創意工夫にあふれており、優劣つけがたいものでしたが、審査の結果は本報告書に記載の通りです。Park君(韓国、釜慶大学)の作品(Adventure Bubble)が最優秀賞を得たのは、今すぐにでも「おもちゃ」の製品として売れそう、という完成度が高く評価されたためと思われます。

表彰式は日韓流体工学合同会議のレセプション会場において多くの会議参加者の見守る中、盛大に行われました。韓国側からの参加者が多い席上で、はからずも韓国のPark君が最優秀賞を授与されたことは、特に韓国の方々に対して好印象を与えたことと思います。本コンテストが「日韓友好」に少しでも貢献できたとすれば、実行委員の一人として望外の喜びです。

最後に、本コンテストにご支援を賜りました各企業(アイシン精機株式会社、石川島播磨重工業株式会社、株式会社 荏原製作所、株式会社 デンソー、株式会社 東芝、株式会社 豊田自動織機、日機装株式会社)に対しまして、衷心より厚くお礼を申し上げます。また、幹事の今尾先生(岐阜大)はじめ、実行委員の皆様方には計画段階の最初から最後まで大変お世話になりました。ここに記して深く感謝申し上げます。

第2回「流れの夢コンテスト」結果報告

最優秀賞

「Adventure Bubble」 Park Sung-Gyun (韓国 釜慶大学, 福井大学)



優秀賞

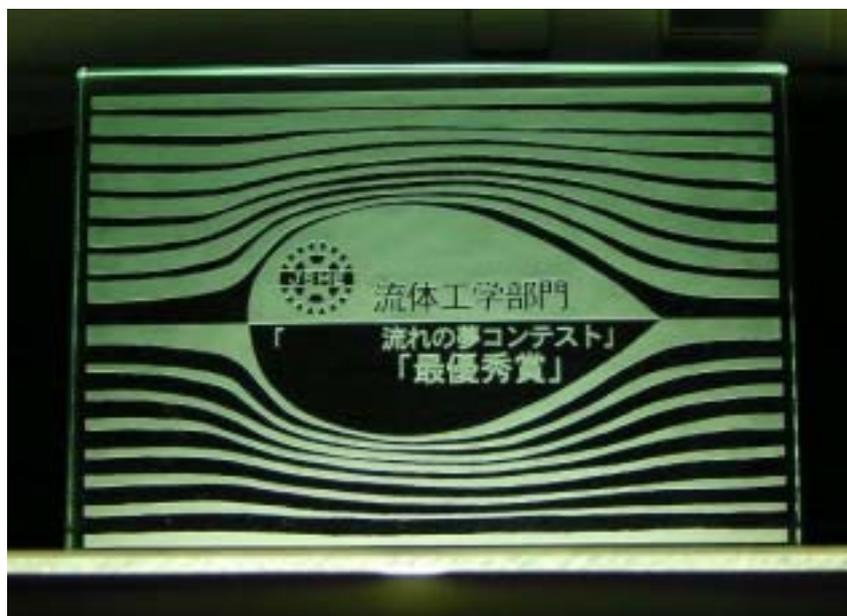
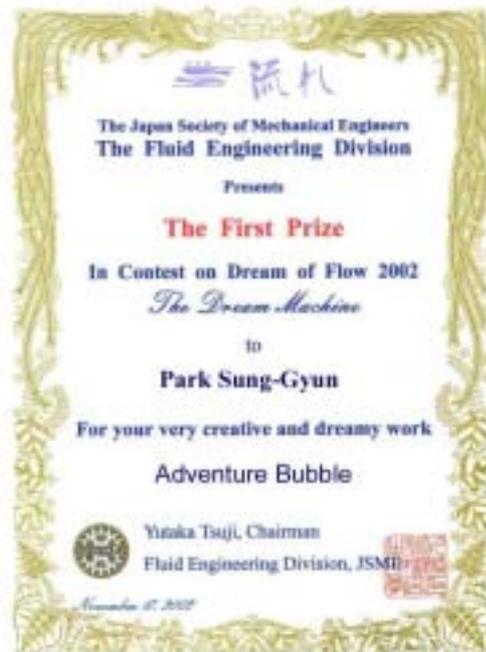
「不レ能レ飛 (飛ぶにあたわず)」 宇井岳夫 (名古屋大学大学院)



特別賞

「JeThomas」 山田淳平・上野浩一・大野貴史 (岐阜大学大学院)





第2回「流れの夢コンテスト」開催までの経過

- 2001年12月1日 第1回実行委員会開催（名古屋工業大学）
テーマを「流れの夢コンテスト2002～ドリーム・マシーン～」とし、流れを利用したまたは流れに関連したおもちゃのコンテストとすることに決定。開催日と会場、学生委員の追加を決定。
開催日：2002年11月17日(日)
会場：名古屋国際会議場
- 2002年6月8日 第2回実行委員会開催（名古屋工業大学）
コンテスト実施までのスケジュール等の検討。
募集方法および応募方法、特別講演、支援企業、役割分担、ポスター、ホームページ、収支予算案、賞品・補助額などを決定。
- 2002年7月2日 ホームページ公開、応募開始。
- 2002年8月 日本機械学会誌に記事掲載（会告215ページ）
- 2002年8月 ポスター発送（全国大学、高専等へ）
- 2002年9月24日 広報委員会にて韓国側へも参加を呼びかけることとなった。
応募期間を10月17日まで延長
- 2002年10月2日 英文ホームページ公開（福井大学）
- 2002年10月17日 応募締切 16チームの応募あり。
- 2002年11月10日 作品の中間報告締切 15チームの報告到着（1チーム辞退）
- 2002年11月17日
13:00～14:00 特別講演「水ロケットにかかわって」
坂井孝弘氏（名古屋工業大学ものづくりテクノセンター）
14:00～17:00 コンテスト
（プレゼンテーション・実演あわせて1作品10分程度）
18:00～20:00 表彰式および懇親会
（第5回日韓流体工学合同会議のEarly Bird Receptionと合同で開催）

流れの夢コンテスト2002 ~ドリーム・マシーン~ Microsoft Internet Explorer
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
 アドレス(A) http://flow.mech.nitech.ac.jp/DreamMachine/index.html

 (株)日本機械学会 流体工学部門主催 **流れの夢コンテスト2002~ドリーム・マシーン~**

You are 002094 th visitor

[English](#)
 (2002/10/2upload)

[流れの夢コンテストとは](#)
 (2002/7/2更新)

[特別講演](#)
 (2002/9/28更新)

[当日までのスケジュール](#)
 (2002/10/18変更)

[当日のスケジュール](#)
 (2002/10/18変更)

[応募について](#)
 (応募は締め切られました)

[応募状況](#)
 (応募は締め切られました)

[ポスター](#)
 (2002/8/9追加)

[ドリーム・マシンの例](#)
 2002/7/2例追加

[関連リンク](#)

流れの夢コンテストとは

流体工学部門では、
 流体工学の新しい展開と
 若手研究者の支援の一環として
 「流れの夢コンテスト」
 を2001年より実施しています。2002年は

未来はすぐそこにある
 流れの夢コンテスト2002~ドリーム・マシーン~
 を開催します。ここで言うドリーム・マシーンとは、

**流体工学の新展開
 若手研究者の支援**

流体工学のアイデアおもちゃ
 流体工学に関連した
 斬新なアイデアを
 用いて作られたおもちゃ

と言う意味です。もっと具体的なイメージは

**ドリーム・マシンの例
 関連リンク**

**ドリーム・マシンの
 イメージ**

を参考にして下さい。
 コンテストの目的は、ドリーム・マシーン作りを通して

**モノ作り
 機械工学**

**モノ作りの面白さ
 機械工学のすばらしさ**

流れの夢コンテスト2002 ~ドリーム・マシーン~ Microsoft Internet Explorer
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
 アドレス(A) http://flow.mech.nitech.ac.jp/DreamMachine/index.html

 (株)日本機械学会 流体工学部門主催 **流れの夢コンテスト2002~ドリーム・マシーン~**

[当日までのスケジュール](#)
 (2002/10/18変更)

[当日のスケジュール](#)
 (2002/10/18変更)

[応募について](#)
 (応募は締め切られました)

[応募状況](#)
 (応募は締め切られました)

[ポスター](#)
 (2002/8/9追加)

[ドリーム・マシンの例](#)
 2002/7/2例追加

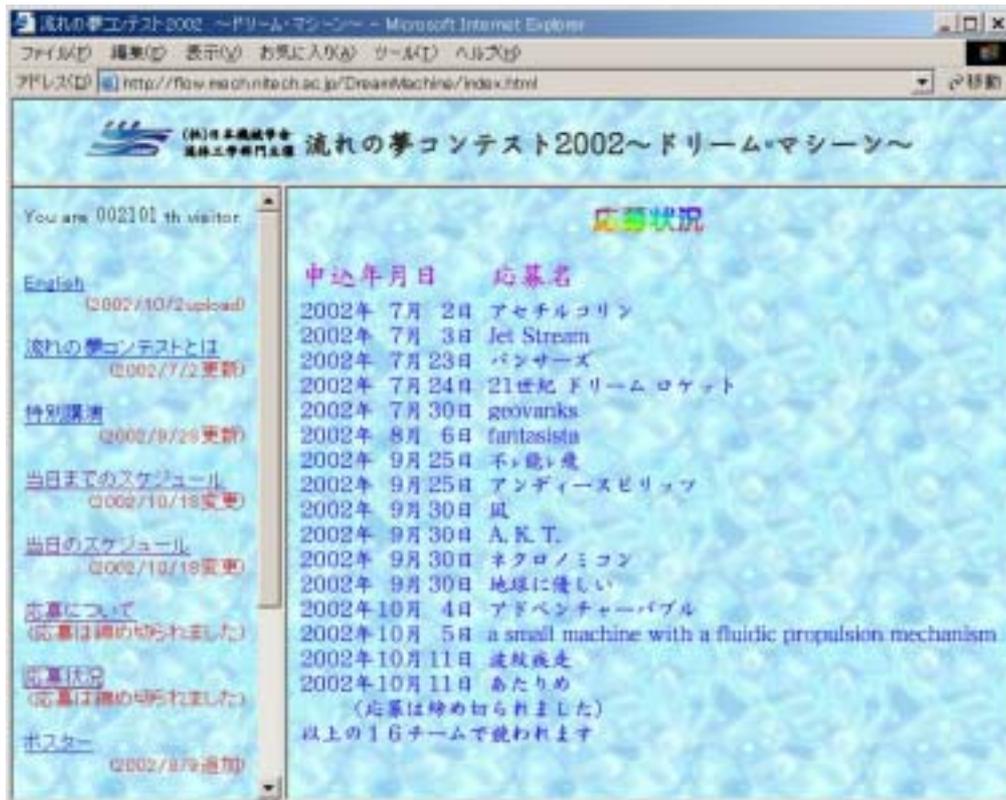
[関連リンク](#)
 (2002/7/2更新)

[支援企業](#)
 (2002/10/29更新)

[問い合わせ先](#)
 (2002/7/2更新)

ドリーム・マシンの例

- ・株式会社タカラ(玩具メーカ)のアクアロイドシリーズ(サンプル)
 ((株)タカラの広報室より掲載許可)
- ・様々なホバークラフト(サンプル)
 「ホバークラフトによる摩標のない世界」-「メカライフの世界」展より-
 写真提供: 函館工業高等専門学校 本村真治先生
- ・卓上型ホバークラフトの製作(リンク)
 (2002.5.10, 佐藤謙彦(玄路)氏よりリンク許可)
- ・東海大学海洋学部マリンデザイン工学科の色々な水中ロボット(リンク)
 (2002.5.10, 加藤直三教授よりリンク許可)



No.02-71 第2回「流れの夢」コンテスト
(流体工学部門 企画)

開催日 2002年11月17日(日)
 会場 名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)
 主旨 流体工学部門では、流体工学の新しい展開と若手研究者の支援の一環として「流れの夢コンテスト」を2001年より実施しています。流体工学に関連したアイデア、理論、思想、遊び、教育、数値シミュレーションなど、その発想のすばらしさや、技術力を競います。第1回目は「生物と流れ」に関するアイデアコンテストを実施しました。第2回目は作品を製作し、プレゼンテーションとともに実演の結果を審査します。今回は、作品製作および作品発表にあたって、製作費・交通費補助の制度を設け、さらに優秀作品に副賞としての奨励金制度も設けました。奮ってご応募下さい。

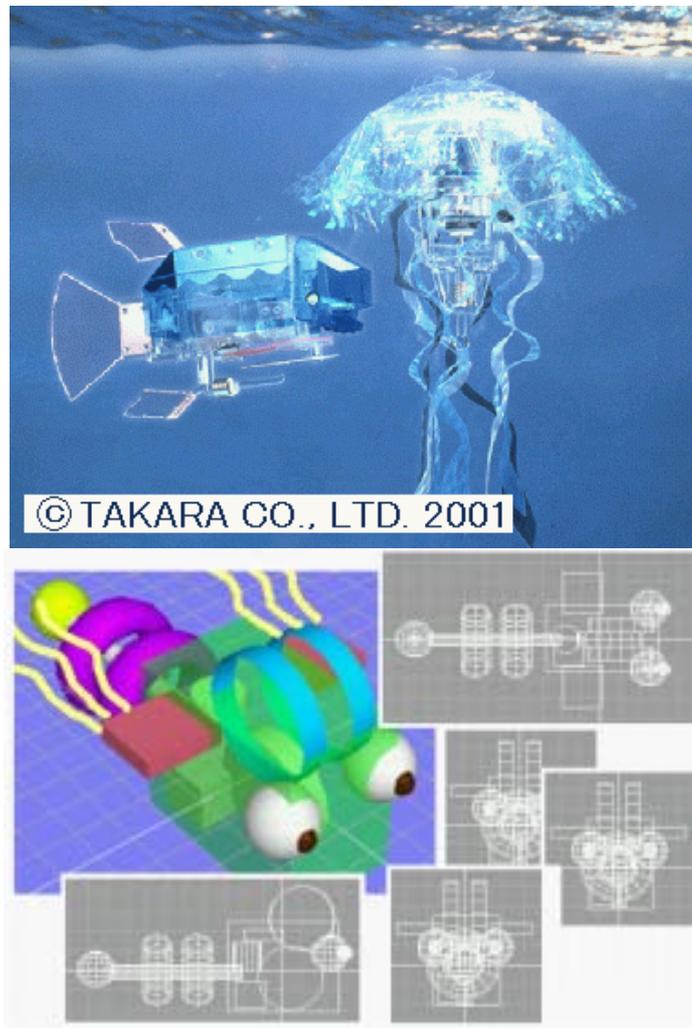
第2回コンテストのテーマ：ドリーム・マシーン
 ドリーム・マシーンとは、流体工学に関連した斬新なアイデアに基づくおもちゃを意味します。身近な現象を利用したもの、従来のおもちゃの進化形、教育現場で使うもの、さらには未来の流体機械を目指したものまで、流れを利用したおもちゃを考案製作して競います。

- 企画行事予定
1. 応募期間：2002年7月1日(月)～9月30日(月)
(応募者はコンテストに先立ち2002年10月25日(金)までに作品の設計製作状況を報告していただきます。)
 2. 応募方法：下記ホームページからE-mailにて申し込んで下さい。
 3. 特別講演会：コンテスト当日に、ドリーム・マシーンに関連した特別講演会を開催します。

流れの夢コンテスト2002ホームページ：
<http://flow.mech.nitech.ac.jp/DreamMachine>
 問合せ先 今尾茂樹(岐阜大) / E-mail: imao@cc.gifu-u.ac.jp

JSME Fluids Engineering Division Student Contest

Contest on Dream of Flow 2002 *The Dream Machine*



JSME Fluids Engineering Division holds "Contest on Dream of Flow" as a part of the campaign to extend a new field of fluids engineering and to encourage the activity of young researchers. In the contest, entry members compete for the idea, technique, and theory of proposed machines associate with fluids engineering. Last year, this event was held for competing machines simulating living things as shown in pictures. This year, entry members make a piece of work during the period between entry registration and the contest date, and make a presentation with demonstration on the contest date. The entry members will be financially supported by JSME for production cost and transportation fare. Please apply for this contest before October 5 2002 after understanding following conditions.

Now JSME enthusiastically calls for applicants from Korea to enrich the [The Fifth JSME-KSME Fluids Engineering Conference](#) that is held in paralell to this contest in the same confress hall.

特別講演

講演題目

水ロケットにかかわって

講師

坂井 孝弘 (さかいたかひろ)

名工大, ものづくりテクノセンター, 技術専門職員

講演内容

これまで関わってきた4種類のロケットについての講演, 展示
またそれぞれの発射台についての講演
ロケットについて流体力学, 熱力学, 工作の観点からの講演
ビデオ上映(製作, 発射風景)

4種類のロケット

1. 子供会用
2. 誘雷試験用
3. 一体型ロケット
4. 途中で分離して飛行機を飛ばすロケット

ロケットの呼び方

- 遊び用: ペットボトルロケット
- 教育用: 水ロケット
- 実験・試験用: ウォーターロケット



3台のウォーターロケット



緑のウォーターロケット

応募について

製作費・交通費補助制度

製作費：3万円まで実費補助予定

交通費：交通費を5万円まで補助予定

注) 金額は変更になる場合がありますので、このページでご確認下さい。

賞

奨励金

優勝：5万円の商品券

準優勝：2万円の商品券

特別賞：2万円の商品券

記念品

補

注) 金額は変更になる場合がありますので、このページでご確認下さい。

コンテスト

プレゼンテーション

作品の特徴・工夫(苦勞)した点・失敗談など
作品のアピールを行います。

実演

実際に作品を動かします。

会場への持ち込みが困難な作品については
予めビデオで撮影してもらい、上映します。

(プレゼンテーション・実演合わせて1作品当たり10分程度)

審査

プレゼンテーション・実演・作品を
総合的に審査して、優勝・準優勝・特別賞を
決定します。

応募期間

2002年7月1日～2002年10月17日

(応募期限が延長されました)

応募者はコンテストに先立ち

2002年11月10日

(途中経過報告日に変更されました)

までに作品の設計製作状況をデジカメ写真等で
報告していただきます。

注意事項

- (1) 参加費は無料です。
- (2) 現在アイデアが無くても応募できます。
- (3) 応募名は「応募状況」に掲載します
1週間程しても掲載されない場合
今尾茂樹(岐阜大学) imao@cc.gifu-u.ac.jp
へご連絡下さい。
- (4) 応募者への連絡はe-mailで行います。
ホームページも追加あるいは修正します。

応募方法

e-mailにより応募して下さい。

表題(subject)を「夢コン2002への応募」とし、

- ① 応募者の氏名
- ② 応募者のe-mailアドレス
- ③ 応募名(作品と関係ない名前でも可)

を入力の上、

今尾茂樹(岐阜大学) imao@cc.gifu-u.ac.jp

へ送信願います。

注) グループ参加の場合は代表者を応募者として下さい

支援企業(50音順)

アイシン精機株式会社
AISIN SEIKI CO., LTD.
<http://www.aisin.co.jp/>

石川島播磨重工業株式会社
Ishikawajima-Harima Heavy Industries Co., Ltd.
<http://www.ihico.jp/>

株式会社 荏原製作所
Ebara Corporation
<http://www.ebara.co.jp/>

株式会社 デンソー
DENSO CORPORATION
<http://www.denso.co.jp/>

株式会社 東芝
TOSHIBA CORPORATION
<http://www.toshiba.co.jp/>

株式会社 豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION
<http://www.toyota-shokki.co.jp/>

日機装株式会社
NIKKISO Co., Ltd.
<http://www.nikkiso.co.jp/>

第2回「流れの夢コンテスト」実行委員会

委員長	伊藤基之	名古屋工業大学 教授
幹事	今尾茂樹	岐阜大学 助教授
委員	土田陽一	名古屋工業大学 助教授
	横田和彦	名古屋工業大学 助教授
	宇賀神裕樹	石川島播磨重工業株式会社 基盤技術研究所 熱・流体研究部
	内田貴之	日機装株式会社 流体技術カンパニー流体機器工場技術部
	諸井隆宏	株式会社豊田自動織機 コンプレッサ事業部技術部
	日高宏一	トヨタ自動車株式会社 第1生技部
	印田 尚	名古屋工業大学大学院工学研究科生産システム工学専攻2年
	舟橋 勇	名古屋工業大学大学院工学研究科生産システム工学専攻2年
	中垣輝之	名古屋大学大学院工学研究科機械情報システム工学専攻1年
	井上憲幸	名古屋大学大学院工学研究科機械工学専攻1年
	上野浩一	岐阜大学大学院工学研究科機械システム工学専攻1年
	大野貴史	岐阜大学大学院工学研究科機械システム工学専攻1年